

# 10代支援活動 福岡市の団体 寄付の申し出 100件

## 捨てたものじゃない

虐待や貧困といった家庭の事情で高校に通えなかったり、親元で暮らせなかったりする10代の若者を支援する福岡市の一般社団法人「ストリート・プロジェクト」(ストプロ)が、活動資金づくりのため古本の寄付を求めていると19日本紙夕刊が報じて以降、1週間で100件近い寄付の申し出がストプロに寄せられている。代表理事の坪井恵子さん(50)は世の中、捨てたものじゃないとあらためて感じた」と感激している。

記事は、高校進学や通学を断念した若者たちに高校卒業程度認定試験(旧大検)の受験勉強を無料で教える活動などに取り組むストプロが、古本を回収し、その転売益で若者が格安で暮らせるゲストハウスの設立を

## 古本もこの世の中も



坪井恵子さん

目指すという内容。

坪井さんによると、19日午後から、寄付を申し出る電話が相次いでかかり始めた。中高年が中心で、最高齢は90歳の一人暮らしの女性。「本がたくさんあるか」と思っている人が多い。

### 本紙報道後 各地から

「寄付したい」と電話があと知った。いただいた真心で、子どもたちの再チャレンジ支援に頑張る」と話す。

福岡市南区の70代男性は「引っ越しをするから」と段ボール10箱分(約850冊)の寄付を申し出た。年金暮らしの夫婦は「子どもがかつて旧大検を受けた。お世話になった先生が音信不通なので、代わりに返返しをさせてほしい」と現金の寄付を願っている。61。

事業所からの連絡もある

(坂本信博)

り、漫画の編集プロダクションからは「漫画本をまとめて送ります」。『ポランティア塾で使って』と黒板や机を寄贈してくれる会社もあったという。

坪井さんは、漫画「タイガーマスク」の主人公名で

児童養護施設などに寄付が相次いでいることに触れ

「『自分にも何かできないか』」

古本は5冊以上の場合、坪井さんに電話かファクスで申し込めば、ストプロ側で宅配業者を手配し、無料で集荷する。坪井さんの連絡先は、電話0800(3376)3510。ファクス092(215)0161。